

療法名 **TS-1単剤**
 適応 **大腸癌**
 抗癌剤適応分類 **進行・再発癌・術後補助化学療法**

第1版	改訂なし
登録番号	大腸-29
登録年月日	2013年12月

投与順	抗癌剤名(一般名)	【略語】	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
1	ティーエスワン® (テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム)	S-1	80mg/m ² ※	経口	朝・夕食後	d1~28

	day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	42		
S-1	80mg/m ² ※	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓			

1コース期間 (次のコースまでの標準期間)	6週:4週投薬後2週休薬
総コース数	原則PDまで
コース間での休薬規定	なし

減量規定・中止基準	Grade4の血液毒性、Grade3~4の非血液毒性 ※S-1は体表面積に合わせて投与量を調節する:1.25m ² 未満→40mg/回、1.25m ² ~1.5m ² 未満→50mg/回、1.5m ² 以上→60mg/回
投与量の増量規定	なし
投与間隔の短縮規定	副作用発現等によっては2週投薬、1週休薬への変更可能
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	単剤のためなし
プレメディケーション	ルーチンではなし
ポストメディケーション	

主な副作用	下痢、口内炎、骨髄抑制、嘔気、全身倦怠感、色素沈着、皮疹など
患者条件	全身状態良好(PS0~2)、主要臓器の機能が十分に保持されている、白血球数3000/mm ² 以上、好中球数2000/mm ² 以上、血小板数100000/mm ² 以上、ヘモグロビン9.0g/dL以上、総ビリルビン2.0mg/dL以下、AST・ALT150U/L以下、血清クレアチニン1.2mg/dL以下
除外規定	経口摂取不能患者(胃瘻投与は顆粒製剤で対応可能) 中等度の以上の胸水、腹水貯留を認める
実施上の注意点	フッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍薬、フッ化ピリミジン系抗真菌薬とは併用しない。 フェニトイン、ワルファリンカリウムとの併用により副作用増強

治療成績	①進行・再発※第Ⅱ相臨床試験より ・50%以上の腫瘍縮小が2クール以内に認められる確率88.1%(37/42) ・初回化学療法例に対する奏効率は25.0%(4/16例) ②術後補助※ACTS-CC(第Ⅲ相臨床試験)より 結腸癌術後補助においてUFT/LVIに対する非劣性の証明が行われた。DFS、3年OS共に非劣性証明済み。
その他	添付文書においては術後補助化学療法の適応は認められていない。

参考文献 南江堂 リスク別 がん化学療法レジメン 改訂第2版
 じほう がん化学療法ワークシート 第3版
 大鵬薬品 TS-1適正使用ガイド